

IV. 2 道路と交通の整備方針

(1)課題

■幹線道路整備の課題

- ・本市の都市計画道路の整備率は約60%であり、国道134号や国道129号を始め混雑している道路がみられます。特に国道134号は混雑解消のため通過交通にどう対応するかが課題です。
- ・主に市外とつなぐ広域交通機能を担う幹線道路では、東西方向の道路の不足への対応が課題です。また、主に市内の集散機能を担う幹線道路では、中心市街地、ツインシティ（大神地区）、西部地域などの主要な地域をつなぐ道路の整備や、局所的な渋滞箇所の円滑化が課題です。

■公共交通の課題

- ・路線バスは、平塚駅に集中していることからラッシュ時に遅延する場合があります。また、バス網の面では、バス利用の不便な地域がみられます。バス交通の定時性確保やバス網の充実、誰もが利用しやすいバス停の整備や、新たなバスターミナルの整備などが課題です。
- ・相鉄いずみ野線の平塚方面への延伸、東海道貨物線の旅客線化の実現、鉄道輸送力を向上することが望まれます。
- ・効率的運行が可能で、環境にやさしい新しい公共交通の導入が望まれます。
- ・高齢化に伴い、公共交通の必要性がますます高まることから、公共交通網の充実や身近な移動を可能にする地域交通の確保が課題です。



平塚駅北口広場

■歩行者空間、自転車利用環境の整備の課題

- ・歩行者や自転車利用者が円滑に移動できるよう、安全で交通バリアのない環境づくりが望まれます。
- ・本市は平坦な土地が多く、自転車利用は神奈川県平均の1.8倍もあります。環境にやさしい乗り物である自転車の一層の利用が望まれます。

■平塚駅周辺における課題

- ・平塚駅周辺においては、自動車中心の道路、駐輪場不足、自転車の路上駐輪などが大きな問題となっています。このため、歩行者や自転車利用者が回遊できるようにすると共に、駐輪マナーの啓発や駐輪場の整備、放置自転車対策、自転車を利用する買い物客の駐輪対策、バリアフリー*の推進などが課題です。
- ・平塚駅北口広場においては、鉄道と路線バスの乗り換えのためには上下移動があり利用者の負担となっています。このため北口広場における各交通機関の再配置やバリアフリーなど、抜本的な見直しが課題です。



駅前大通りの路上駐輪

(2)基本的な考え方

- ・道路整備については、市民の都市活動を快適で利便性の高いものとし、また産業や業務活動を効率的なものとするため、さらに市外と広くつなぎ、そして地域間をつなぐ道路整備を進めます。
- ・公共交通については、乗用車やトラック、公共交通など運輸部門における環境負荷の少ないエネルギー利用*を進めると共に、公共交通中心のまちづくりを進め、過度の自動車利用の抑制に努めます。
- ・歩行者空間の一層の確保や自転車空間の創出により、円滑に移動ができ、安全で交通バリアのない環境づくりを進めると共に、平塚駅周辺においても交通整備を進めます。

(3)基本方針

【道路の整備方針】

- イ. 市外と広くつなぐ東西、放射方向の幹線道路の整備
- ロ. 市内の地域間をつなぐ幹線道路の整備
- ハ. 効率的かつ効果的な道路整備

【公共交通網と自転車利用環境の整備方針】

- ニ. 過度の自動車利用の抑制と、公共交通網の充実及び自転車利用環境の整備

【平塚駅周辺の交通の整備方針】

- ホ. 平塚駅周辺の交通整備

【シンボル軸と南北都市軸を形成する道路の整備方針】

- ヘ. シンボル軸と南北都市軸を形成する道路の整備

(4)道路の整備方針

イ. 市外と広くつなぐ東西、放射方向の幹線道路の整備

■東西方向の広域幹線道路

- ・広域交通需要に対応するため「①^(注)新湘南国道」の整備を進めると共に、並行する国道134号の慢性的な渋滞に対応するため、段階的な整備を進めます。
注：①：47ページの図中の番号と対照。以下②～⑩も同じ
- ・東西都市間を強くつなぎ、相模川橋りょう部での交通混雑を緩和するため、「②国道134号」「③湘南新道」「④伊勢原藤沢線」の整備、及びさがみ縦貫道路の寒川北インターチェンジ、そしてJR東海道新幹線新駅への交通アクセスとして「⑤(仮)倉見大神線と関連道路」など東西方向の広域幹線道路の整備を進めます。
- ・「⑥(仮)伊勢原大神軸」は、道路の位置など具体的な計画について検討します。

■放射方向の広域幹線道路

- ・小田急小田原線の3駅とつなぎ、放射方向の交通を円滑にするため、「⑦平塚海岸秦野線」「⑧相模原大磯線」及び「⑨八幡神社土屋線（市街地外側）」など放射方向の広域幹線道路の整備を進めます。
- ・「⑩秦野中井インターチェンジアクセス道路」は、道路の位置など具体的な計画について検討します。

□. 市内の地域間をつなぐ幹線道路の整備

■都市内幹線道路

- ・市内の各地域をつなぎ、市街地の交通混雑を緩和するため、「⑪八王子平塚停車場線」「⑫東浅間大島線」「⑬萩原八幡線」「⑭平塚山下線」「⑮旭伊勢原線」「⑯八幡神社土屋線（市街地の内側）」「⑰上粕屋南金目線」など都市内幹線道路の整備を進めます。
- ・「⑰（仮）平塚大神軸」は、道路の位置など具体的な計画について検討します。

八. 効率的かつ効果的な道路整備

■既存計画の見直しを視野に入れた総合的な検討

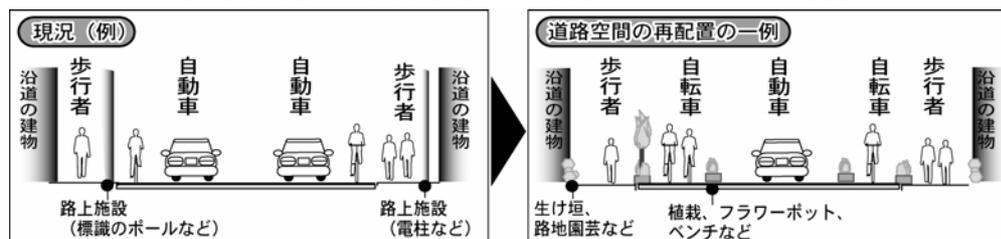
- ・道路整備にあたっては、人口構造の変化を捉えた自動車の交通需要を予想し、既存計画の見直しも視野に入れた総合的な交通施策を検討し、効率的に進めます。

■効率的かつ効果的な道路整備

- ・道路上においては、利用の仕方の変化に的確に対応するため、歩行者空間や自転車空間などを創出する道路空間の再配分※を必要に応じて進めます。

道路空間の再配分のイメージ

（自動車空間の一部を、歩行者・自転車のためにいかした場合）



※実現のためには、安全で円滑な交通の確保と地元の協力が必要です。また、幹線道路などで、車線の一部を時間によって主要方向に変えるなどの取り組みも進められています（リバーシブルレーンなど）。

- ・幹線道路における渋滞箇所を円滑にするため、総合的に交通状況を把握し、必要に応じて交差点改良や右折レーンの設置などを進めます。
- ・老朽化した橋りょうや狭い橋りょうは、災害時にも安全な道路網として機能するよう改良に努めます。
- ・歩行者の安全性や快適性を向上させ、高齢者や障がい者など誰もが容易に通行できるゆとりある空間を確保するため、幹線道路などの整備に伴う歩行者空間の充実や自転車道、コミュニティ道路※などの整備を進め、歩行者空間のネットワークの形成を進めます。
- ・生活道路の整備と交通安全対策を進めます。

(5)公共交通網と自転車利用環境の整備方針

二. 過度の自動車利用の抑制と、公共交通網の充実及び自転車利用環境の整備

■バス交通の充実

- ・バス交通の速達性や定時性の向上のため、バス優先レーンの確保やバスの優先信号制御など走行環境を改善します。
- ・バス利用推進のため、ノンステップバス*の導入や総合的な情報提供システムづくり、バスと鉄道の乗り換え利便性の向上、バス停近くに駐輪場を設置するサイクル&バスライド*拠点の整備などを進めます。
- ・再開発などにあたっては、バス停やバスターミナルなどをあわせて整備する公共交通指向型開発に努めます。
- ・新たな道路や地域のニーズに応じて、バス路線の見直しや運行の充実、ネットワークの形成に努めます。
- ・バス路線を補完する手段として、市民と市の協働による地域に密着したコミュニティバスなどの交通について検討します。

■鉄道輸送力向上

- ・通勤通学などの鉄道輸送力向上のため、相鉄いずみ野線の平塚方面への延伸や、在来線の平塚駅乗り入れや東海道貨物線の旅客線化の実現に向けた諸施策を展開します。

■新しい公共交通システムの導入の検討

- ・JR東海道新幹線新駅への交通アクセス向上のため、またツインシティ（大神地区）における公共交通指向型まちづくりを進めるため、新しい公共交通システムの導入に向けて検討します。
- ・平塚駅と市内各地域そして市外の主要駅をつなぐバス交通の輸送力増強や、地球温暖化効果ガスの削減、効率的運行のため、連節バスなど新しい公共交通システムの導入に向けて検討します。

■環境負荷の少ない自動車交通システムの検討

- ・自動車利用の抑制策として自動車利用者の行動を変える交通需要マネジメント*や、過度の自動車中心の生活スタイルから、電車やバスなどの公共交通や自転車などの積極的な利用を促すモビリティマネジメント*、ノーカーデー*などを検討します。

■自転車利用環境の整備

- ・自転車は本市の主要な都市交通手段の一つのため、自転車空間の創出と自転車ネットワークの形成を進めます。
- ・観光型レンタサイクル*サービス施設を、市内の要所に配置します。また平塚駅周辺においては都市型レンタサイクル機能を充実します。
- ・スポーツやレクリエーションの充実のため、サイクリングコースの延長やネットワークの形成、休憩スポットの整備などについて検討します。

(6)平塚駅周辺の交通の整備方針

ホ、平塚駅周辺の交通整備

■歩行者や自転車利用者、鉄道による来街者を重視した交通整備

- ・平塚駅周辺は、誰もが鉄道やバスを利用して、安全で快適に移動できるよう交通バリアフリー*を進めます。
- ・平塚駅周辺は、歩行者や自転車を優先する道路空間や、人がたまる空間を創出します。
- ・通勤・通学用と買い物用の自転車を収容する駐輪場を整備します。また買い物用の自転車については、必要に応じて路上駐輪場の設置を検討します。
- ・駐車場は、主な駐車需要と歩行者や自転車空間に配慮し、適正な配置を検討します。また、配送関係車両は、適切な路上荷捌き場などの確保を検討します。
- ・公共サイン*の整備を進めると共に、駅前での交通と観光の案内役となり、交通の乗り換え時のサービスなどを提供する施設の設置について検討します。

■平塚駅北口広場の整備改善

- ・平塚駅北口広場においては、バリアフリー化による乗り換え利便性向上や、平塚駅に集中するバスや自動車の交通円滑化のための整備改善を進めます。さらに、新しい公共交通の導入を視野に入れた見直しを検討します。

■JR東海道線の南北をつなぐ動線整備の検討

- ・平塚駅北口と南口をつなぐ歩行者動線の円滑化を検討します。
- ・駅西口において、歩行者の利便性を高めるため、南北のバリアフリーを進めます。

(7)シンボル軸と南北都市軸を形成する道路の整備方針

ハ、シンボル軸と南北都市軸を形成する道路の整備

■シンボル軸を形成する道路の整備

- ・平塚駅の南北の大通りは、本市を代表する象徴的な道路として、やすらぎやうるおいを与え、景観に配慮した美しい空間づくりを進めます。このため歩行者・自転車・自動車の空間を適切に確保し、デザインテーマのある街路樹や交通案内、歩行者のたまり空間やモニュメント、都市環境にやさしい舗装材や夜間照明、防犯装置の設置などについて検討します。

■南北都市軸を形成する道路の整備

- ・「国道129号」と「八王子平塚停車場線」は、南北都市軸を形成する基本的な道路となります。このうち「八王子平塚停車場線」は、公共施設ゾーンを通過し、シンボル軸ともつながるため、都市活動を支える重要な道路として整備をすると共に、歩行者や自転車空間の適切な確保に努めます。